

花きの県別生産出荷概況(12月見通し)

令和4年11月30日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		12月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数 千本 (前年比)	京浜地域向 千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬		
バラ	茨城県	施設	サムライ、アマダ、アバランチェ等	周年	-	-	-	40	30	30	古河市 石岡市 茨城町等	・生育は概ね順調。 ・病害虫による大きな影響は特になし。
	群馬県	施設(周年)	アヴァランチェサムライ08ほか	周年 (5~11月)	10.2 (96%)	600 (98%)	400 (98%)	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	多少の病害虫の被害は出ているが、数量には大きな影響はない。出荷数量は平年並み。
	静岡県	周年	サムライオール4ラブベイブシンディ	周年 (4~6月)	1.3 (96%)	800 (100%)	650 (100%)	30	30	40	JA掛川市 JAしみず JA大井川 JA静岡市	気温高い日が続いている為若干前倒し気味。産地によって12月最終週増加見込みのところもあるが、全体としては12月は大きな増加は無い。
	愛知県	周年	サムライ08アバランチェ系ファンシーローラシンディ	4-3月		1,860 (98%)	1,100 (98%)	25	35	40	ひまわり 西三河 愛知みなみ 豊橋	11月上旬~中旬にかけて出荷量が少なかったため、次の出荷の山は、サイクルから考えて12月下旬ごろとなる可能性がある。また、赤バラについては11月中下旬の数量が多いため、12月は少なくなる見込み。
ロアメルリスト	長野県	加温地中冷房	ピンクティアラベルーガマッサピンクサプライズ	周年 (4月)		1,400 (105%)	600 (100%)	30	30	40	上伊那 信州諏訪 松本ハイランド 佐久浅間	夏場の高温等による影響から、昨年と比較すると、9割程度の出荷数量が続いている。10月中旬より暖房入れての管理をしている為、年末に向けて増加、安定した出荷となる見込み。
ストック	福島県	施設		10~3月 (11~12月)	4.2 (105%)	230 (100%)	190 (100%)	40	30	30	JA会津よつば 他	前年のような短径開花による出荷前進化はなく、例年並みのペースでの出荷が続く見通し。
	千葉県	施設	アイアンシリーズカルテットシリーズ	11~4月 (2~3月)	38 (95%)	228 (95%)	114 (95%)	10	30	60	館山市 鴨川市	病害虫の被害なく、順調に生育しており、年末にかけて出荷量が増える見込み。白、ピンク、マリン色が中心である。西岬地区からはアイアンシリーズ、神戸地区からはカルテットシリーズが出荷される見込み。

花きの市場別販売概況(12月見通し)

令和4年11月30日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目		販売における現状と今後の見通し	
バラ	現状	静岡や無加温産地の数量が増加。輸入最大手の商社は原価高、円安、為替の関係で入荷量大幅減。いい夫婦の日をはじめ、祝日、週末大安週の水曜日の婚礼需要などあり(大田)。山形、栃木、群馬、静岡、愛知等。暖地緩やかに増加。大きな動きないが業務需要安定で保合相場(FAJ)。暖地への切り替えも終了し入荷数量は安定。一輪物は潤沢な出荷だがSP品種はまだまだ少ない現状(第一花き)。業務主体の動きが強く、後半は入荷少なく強保合(世田谷花き)。先月に引き続き、業務需要中心に引き合いのある販売で、品薄感のある入荷(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	赤系の引き合いが高まる。国産は重油高の影響で品薄となる可能性あり。輸入品は不安定な入荷となる可能性もあるが、主要国のケニア、エクアドル産は事前提案もしており、対応可能な見込み。
		FAJ	山形、栃木、群馬、静岡、愛知等。クリスマス需要で赤中心に強い引き合い。例年並みの数量見込み。
		第一花き	入荷数量はそこまで伸びず横ばいの見込み。単価面はクリスマスまで変わらずといった所。
		世田谷花き	入荷が少なく後半に向け、赤中心の引き合いとなる。
		東日本板橋花き	入荷量は横ばい。暖地物中心に年末に向けた出荷を目指す。
アルストロメリア	現状	愛知、長野は夏場の株養成の状況が悪く、出荷数量が少なかったが10月下旬より加温が始まり、11月中旬以降数量が増加した。上旬までは品薄単価高の販売となったが、中旬以降は販売鈍化(大田)。長野、山形中心に愛知からもスタート。昨対比8割程の数量で品薄感あり例年より高い単価を維持(FAJ)。夏場の高温の影響で非常に少なめの入荷で推移。そのため中旬まで異常な高単価での販売となったが、入荷数量増加により落ち着き(第一花き)。中旬にかけて長野産増量。相場やや落ち着く。冷え込み次第で下旬に向けて減少(世田谷花き)。愛知・青森・福島中心の入荷。昨年並みの出荷量(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	愛知・長野・山形は安定した入荷となり、年末に向けて増加する。北海道・青森は気温に左右され、不安定な入荷状況。外国産も円安の影響で少ない入荷が続く。
		FAJ	山形中心に、長野、愛知等。例年よりやや少ない数量見込み。後半にかけて相場は上向く見込み。
		第一花き	経費高騰などの理由から例年よりも少なめの入荷。年末需要についてもレギュラー品はやや少なめになるか。
		世田谷花き	上位等級中心に潤沢な見込み。引き合い強くなる。
		東日本板橋花き	愛知・青森・福島中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定だが天候次第で増減あり。
ストック	現状	山形中心に前年と比べると遅いスタートとなり、日々の取り扱いで前年を越えられる日がない状況。需要面では寒さが増し、季節品目としての需要が高まっており、供給が足りていない(大田)。山形中心に福島、千葉等。中旬以降東北産地の入荷増加により高値の続いた相場は落ち着いた(FAJ)。11月前半の遅れ分出荷が開始。さらに前進傾向の品種も合わせSP・ST共に物量は潤沢(第一花き)。山形・福島などから各色入荷。中～下旬に出荷ピークとなる(世田谷花き)。	
	見通し	大田花き	前進出荷した昨年と比べると、年末需要に向け数量は出てくる見通し。
		FAJ	千葉中心に、山形、和歌山等。例年並の入荷を見込んでいるが今後の天候次第では昨年のような展開も。
		第一花き	12月に入ってから気温も低下し出荷はやや落ち着くとみられる。
		世田谷花き	千葉からの入荷も始まる。今期は年末もそれなりの量がありそう。